

ALC板ドライロッキング構法の目地ずれ変形に追従する合成目地消しテープ

NONCRA®A-C・J(目地消し)構法 PAT

外部壁塗装・左官仕上 ALC(厚モノ)

平成25年6月1日

技術相談窓口 株式会社ライトビルシステム技術センター
Tel.03-5346-2120 Fax03-5346-2127 携帯Tel. 090-4518-139

層間変位追従性順位

- ALC取付構法**
1. 縦壁ロッキング (HDR) 構法
 2. 横壁ボルト止め (HDR) 構法 「ヨコ目地圧縮フレ防止治具装着」 必修!

STEP 1. ALC目地不陸検査・調整(別途工事) 施工管理：不陸調整1mm以内

STEP 2. ALC目地部切削平滑仕上 ~ 清掃 切削深さ：2~3mm 幅：一般部82mm 出隅部90mm
ALC専用電動カンナ、ペルトカンナ、手動タンガロイケレン棒・ブローア・ダスター刷毛使用
●電動平カンナ：1900BA SP1 (マキタ製) 切削幅82mm 超硬替刃セット：A-01775、超硬替刃のみ：A-01747
●注 意：切削面の凹凸は、テープの浮きとひび割れの原因!

STEP 3. ALC目地シーリング(別途工事) 乾燥・養生1日以上

STEP 4. ALC切削部“NONCRA®シールプライマー#7”塗 塗幅：80mm 2インチ中毛ローラー使用
●注 意：塗厚がないとテープが密着しにくい!

STEP 5. 免震伸縮接合テープ“NONCRA®A(粘着剤付)”仮止め・ローラー圧着 ~ 離けい紙剥し ~ ステンレス鋼帯両耳“ステンレスピン”エタカ留付け固定 間隔：15~20cm
●注 意：ステンレス鋼帯に残留ひずみ・シワを残さず、下地に圧着留付固定!

STEP 6. テープ両耳“ボンドエフレックス”ガン打ち ~ ヘラ押え仕上 乾燥硬化1日以上
回転式コーキングガン・ゴムヘラ&プラスチックヘラ使用
●注 意：テープのメッシュとステンレス鋼帯の耳が隠れる程度の厚塗とする

STEP 7. 目地消し処理上“セメント接着増強・吸水調整材”ローラー塗 幅：30cm
・NSハイフレックスHF-1000 5倍液 (原液1：清水4)

STEP 8. ALC切削部“ノンクラボリマーセメント”塗仕上 乾燥・養生 1日以上
配合比：粉体 5kg (NSボリマーミックス#15)×3袋 + 混和液 2kg×3本 /21kgセット 65~80M/セット

STEP 9. ALC切削部“ノンクラボリマーセメント混和液”入薄塗セメント仕上 乾燥・養生 1日以上
配合比：NSセボロン#20 25kg + ノンクラボリマーセメント混和液 2kg + NSハイフレックスHF1000 5倍液 調整
・2回目：ALC切削部周辺部壁面不陸調整仕上 乾燥・養生 3日以上

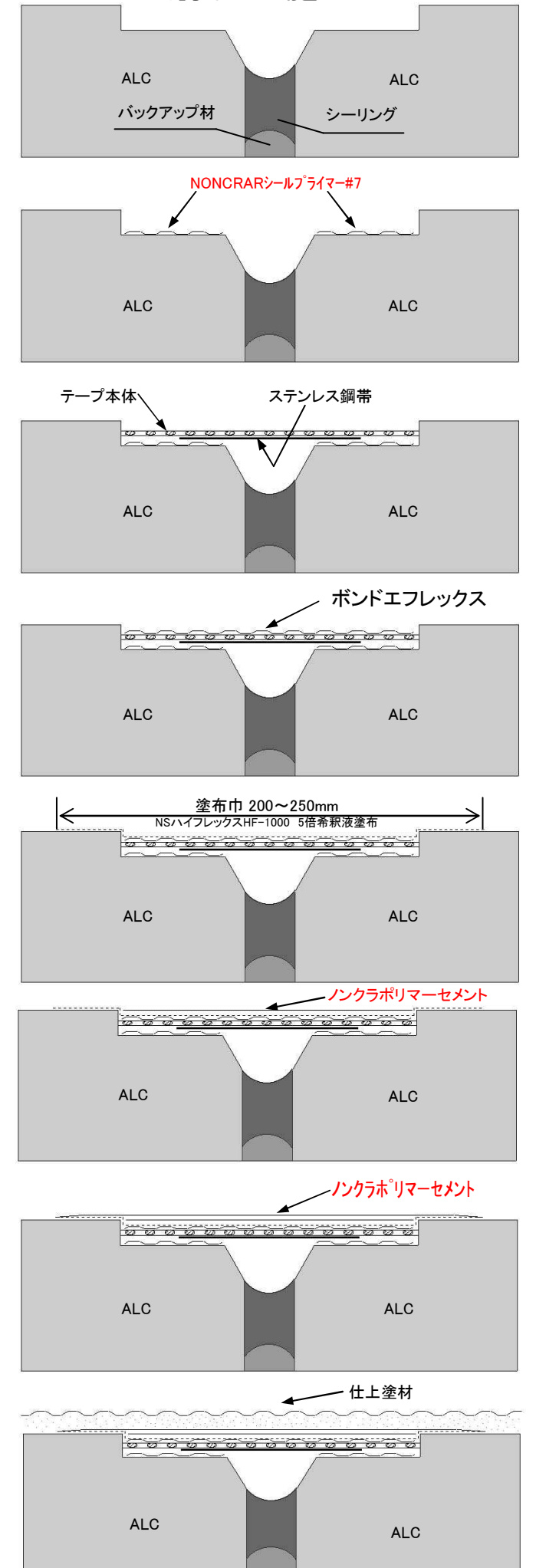
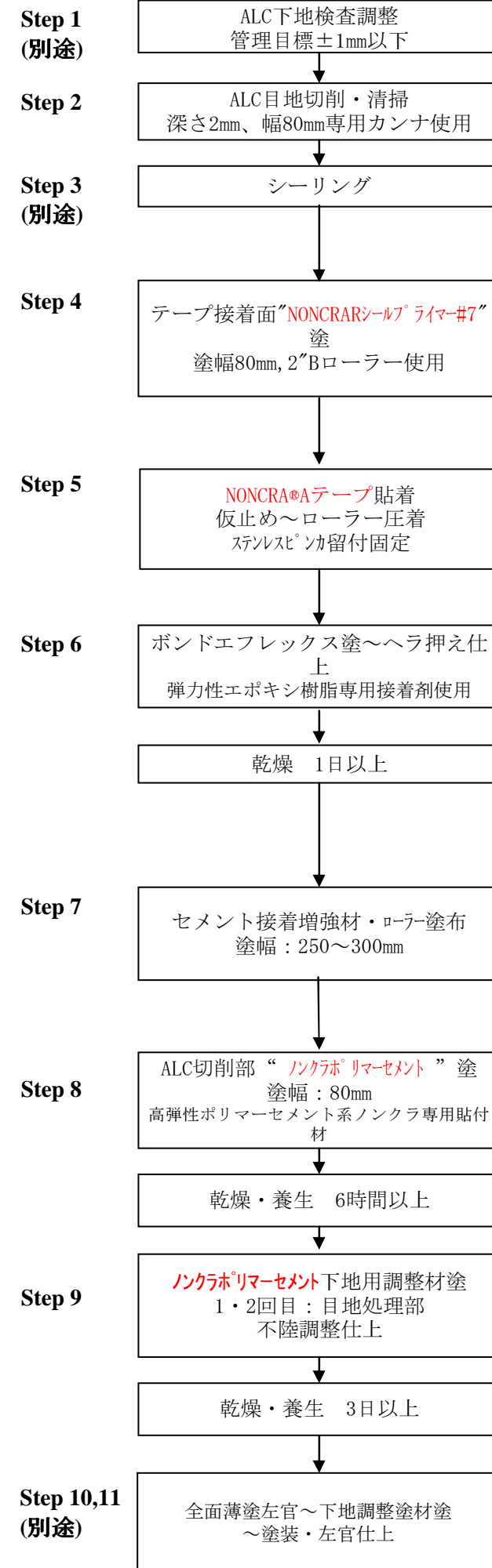
以下別途工事

STEP 10. ALC全面“不陸調整薄塗左官仕上~吸水止下地調整塗材”塗
・1回目：ALC不陸調整薄塗左官コテ塗
全面“セメント接着増強・吸水調整材”ローラー二回塗 NSハイフレックスHF1000 5倍希釈
下塗：NSボリマーミックス・セボロン#20+NSハイフレックスHF1000混入
・2回目：上塗：NSセボロン#10+NSハイフレックスHF1000混入

STEP 11. 塗装・左官仕上
ALC下地用仕上塗料・左官メーカー仕様による

- 警 告
- ・「セメントフィラー吹付け」での下地調整は、ALCの吸込みでヤセが大きいため、結果的に平滑に仕上げた目地処理部が盛り上がり形成されてしまいますので、絶対に避けて下さい。
 - ・施工は、塗装技能工又は補修を専門とする一級左官技能士で、完全平滑仕上げを行って下さい

“NONCRA®A-C・J (ALC目地消し：塗装仕上) 構法” 施工フロー



ALC板ドライロックンク構法の目地ずれ変形に追従する合成目地消しテープ NONCRA®A-既存目地消し改修構法 PAT

外部壁塗装・左官仕上 ALC

平成25年6月1日

技術相談窓口 株式会社ライビシステム技術センター

TEL03-5346-2120 Fax03-5346-2127 携帯TEL 090-4518-139

STEP 1. 既存目地消し部塗膜研磨除去～充填モルタル目地撤去～清掃

平面切削深さALC面露出まで：2～3mm 幅：一般部100mm 出隅部120mm

STEP 2. ALC目地部切削平滑仕上 ～ 清掃

切削深さ：2～3mm 幅：一般部82mm 出隅部90mm

ALC専用電動カンナ、手動タンガロイケレン棒・ブローア・ダスター刷毛使用

●電動平カンナ：1900BA SP1 (マキ製) 切削幅82mm 超硬替刃セット：A-01775、超硬替刃のみ：A-01747

●注意：切削面の凹凸は、テープの浮きによるひび割れの原因！

STEP 3. (別途工事) ALC目地シーリング

乾燥・養生1日以上

STEP 4. ALC切削部NONCRA®シールプライマー#7塗

塗幅：80mm 2インチ中毛ローラー使用

●注意：塗厚がないとテープが密着しにくい！

STEP 5. 免震伸縮接合テープNONCRA®A (粘着剤付) 仮止め・ローラー圧着 ～ 離けい紙剥し ～

ステンレス鋼帯両耳ステンレスピン・エタッカ留付け固定 間隔：15～20cm

●注意：ステンレス鋼帯に残留ひずみ・シワを残さず、下地に圧着留付固定！

STEP 6. テープ両耳ボンドエフレックスコーキングガン打ち ～ ヘラ押え仕上

回転式コーキングガン・ゴムヘラ&プラスチックヘラ使用

●注意：テープ両側のメッシュとステンレス鋼帯の耳が隠れる程度の厚塗とする

乾燥硬化1日以上

STEP 7. セメント接着増強・吸水調整材ローラー塗

幅：30cm

・NSハイフレックスHF-1000 5倍液 (原液1：清水2)

STEP 8. ALC切削部ノンクラボリマーセメント塗仕上

鍍&ゴムヘラ使用 加水厳禁

乾燥・養生 1日以上

配合比：粉体 5kg (NSボリマーミックス#15) ×3袋 + 混和液 2kg ×3本 /21kgセット 65～80M/セット

STEP 9. ALC切削部ノンクラボリマーセメント混和液入薄塗セメント仕上

鍍&ゴムヘラ使用

乾燥・養生 1日以上

配合比：NSセボロン#20, 25 + ノンクラボリマーセメント混和液 2 + NSハイフレックスHF1000 5倍液 1

乾燥・養生 3日以上

以下別途工事

STEP 10. ALC全面不陸調整薄塗左官仕上～吸水止下地調整塗材塗

・1回目：ALC不陸調整薄塗左官コテ塗仕上

下塗：NSセボロン#20 + NSハイフレックスHF1000 5倍液 鏡面仕上の場合 上塗：NSセボロン#10+NSハイフレックスHF1000 5倍液

・2回目：合成樹脂系下地調整材塗：例、シーラーと下地調整を兼ねた「水性ソフトサーフSG (SK化研)」

STEP 11. 塗装・左官塗仕上

ALC下地用仕上塗料・左官メーカー仕様による

- 警告 ・「セメントフィラー吹付け」での下地調整は、ALC露出面は吸込みでヤセが大きいため、結果的に平滑に仕上げた目地処理部が盛り上がり形成されてしまいますので、絶対に避けて下さい。
- ・施工は、塗装技能工又は補修を専門とする一級左官技能士で、完全平滑仕上げを行って下さい

NONCRA®A-既存目地消し改修 (既存改修：塗装・左官仕上) 構法 施工フロー

